

故 工學博士野田鶴雄君記念事業資金募集趣意書

故工學博士野田鶴雄君は少壯優秀なる成績を以て東京帝國大學の門を出づるや直ちに身を海軍に投じ主として吳工廠製鋼部に勤務し累進して製鋼部長となり更に海軍技術研究所長に補せられ陸して海軍造兵中將に任ぜらる 君は其の間外國に派遣せらるること五度常に能く其の任務を全うせり 而して海軍在職中我海軍兵器の改良發達に寄與する所頗る大なるものあり 殊に吳在勤中は兵器用鋼材の製造に貢獻せられたることの多大なりしは識者の熟知する所なり

大正十四年轉じて八幡製鐵所技監となるや時恰かも世界大戰後に於ける一般經濟界の不振に際會し鐵鋼業の經營亦頗る困難なりしにも拘はらず多年の蘊蓄を傾倒して技術と經濟との兩方面に互り同所の發展に努め其の功績顯著なるは茲に贅言を要せざる所なり 而して同所の改良擴充計畫の實施に當りては卒先して國產品愛用の範を示し我國諸製作業の振興に盡瘁せられたり

君は又商工技師を兼務し且つ大正昭和の兩時代に互り數次特設せられたる鐵鋼業振興に關する政府の調査會に於ては常に其の委員となり我國製鐵業に關する重要事項に參與し我製鐵業の獨立自給の可能性あることを強調して其の保護獎勵の必要を力説し夙に製鐵事業大合同の必要を主張せられたり 而して昭和七年末より八年に互りて大合同の氣運漸く熟するや寢食を忘れて之れが實現に努め宿痾の身に在るを知らざるものゝ如し 昭和九年一月日本製鐵株式會社の設立せらるゝや其の常務取締役となり創立勿々に於ける激職に従事したり 昭和製鋼所の事業に付ても社外に於ける君が功績亦少からざるものあり

君は一面日本鐵鋼協會 火兵學會 機械學會等有力なる學會の會員として普く學會に貢獻し又鐵鋼協議會理事として我國製鐵業者諸氏との接觸提携の任に當られたり而して昭和九年四月日本鐵鋼協會の會長に推舉せらるるや病軀を顧ず欣然之を受諾せり 蓋し君の志廣く我國製鐵鋼業の發展を期するに在りたるを窺ふに足るべし 最近に於ける我國斯業の急激なる發達は君の欣快とする所なるも小成に安ずるが如きは君の最も好まざる所にして益々其の基礎を鞏固にして常に日進月歩なる諸外國に遅ることなからんことを期せり 殊に製鐵鋼界發展の根幹たる鐵鋼協會の事業が英米獨諸國に比し著しき遜色あるを遺憾とし之れが充實を計らんことを志せり 不幸にして君は會長就任の時より既に健康舊の如くならず志切にして之れを實現するに至らず會長の任半にして遂に不歸の客と爲れり 誠に千秋の恨事なり

惟ふに君の高潔なる人格は既に周知の事實にして君の死後資金を集めて一家の私用に充つるが如きは君の欲せざる所 況や君に嗣子なしと雖も令弟九浦君の在る有り家名を嗣ぎて未亡人を勞はり何等後顧の患なきををや 然も君が其の全生涯を通じて我製鐵鋼界に盡したる偉業は君の英姿と共に永く之れを後世に傳へんこと吾等友人として止み難き熱意なり 是れ下名等が其の微力を顧ず廣く故人生前の辱知諸賢に檄して其の御聲援を請ひ一つは以て其の名聲を不朽に傳へ一つは以て君が遺志に従ひて聊我製鐵鋼業の爲めに裨益する所あらんとする所以なり